

週刊  
第714号 毎週金曜日発行  
平成30年1月19日号

# カナオカ通信

発行=㈱カナオカ機材 東大阪市御厨東 2-10-1 TEL06-6787-1440 FAX06-6783-0393

## 浪速フードの大阪王将西九条店 リーチインショーケースを設置



当社は、浪速フード(株)(大阪市北区浪花町13-33、社長・高尾泰好氏)の大阪王将西九条店(大阪市此花区西九条4-1-28)にリーチインショーケース(写真)を設置しました。

同社は、大阪府下に19店舗を展開しており、同店はJR環状線「西九条」駅から西南に徒歩約3分のところにあり、座席数32。

当社が深江店(ショーケース)、天六店(台下冷蔵庫)、恵美須町店(スープレンジ)に続いて納入。

### 今日は何の日

#### 咸臨丸、アメリカを目指し出航

1860年(安政7年)のこの日(18日説あり)、内輪型汽帆船・咸臨丸が浦賀を出発。日米修好通商条約批准書交換のための出帆で、37日後にサンフランシスコに到着した。5月5日に浦賀に帰港。この時、艦長として乗船した勝海舟は、奇しくも出航の日から39年後の1899年(明治32年)同日、77歳でこの世を去った。



### 今話題の本



『富士そば』は、なぜアルバイトにボーナスを出すのか(丹道夫著、集英社刊、新書判、222頁、740円+税、写真)が話題を集めている。創業以来40年以上、首都圏を中心に130店舗以上を展開する老舗の立ち食いそばチェーン「富士そば」の不思議な仕組みと経営哲学の全貌を、創業者自らが明かした驚きの1冊。

同書は①なぜアルバイトにボーナスを出すのか②富士そばが誕生するまで③人を育てるにはどうすれば良いか④商売のコツとは何か⑤経営者の役割とは何か⑥富士そばでは、なぜ演歌が流れているのか、の6章から成っている。

“不思議な人”と評される著者は「丹まさと」という名の作詞家でもあり、これまでに作詞したのは演歌ばかりで1000曲を超える。波瀾万丈の人生から得た経営哲学が満載の同書は、経営者のみならず、ビジネスマンにとっての人生指南書でもある。

## 金岡会長交遊録

### 辻中さんが実行委員長に就任 東大阪市民ふれあい祭り

金岡会長が昵懇にいただいている辻本正樹さん(マサキ製作所代表、写真)が「第41回東大阪市民ふれあい祭り」の実行委員長に就任されました。この祭りは、市民1人ひとりが主催者の祭りで、昭和53年に第1回目が開催され、今年が41回目。5月12(土)、13日(日)の2日間、東大阪市内の2カ所の会場で開催されます。



ふれあい祭りを支える実行委員会は、メンバー約400人。パレード参加団体は約50、ステージ参加団体は約60、催し参加団体は約300で、参加市民は約40万人を超える、東大阪の代表的な祭り。

この大役を引き受けられた辻中さんは「40年も続いてきた祭りを絶やすわけにはいかない。50年目指して“どろくさい祭り”を踏襲していきたい。何よりも事故のないように…」と抱負を語っておられます。

### 運が開ける！名経営者のすごい言葉 (29)

#### 「人間は苦しい時こそ 創意工夫に打ち込む」

- ◎逆発想が大事  
世間が浮かれている時はケチになれ。
- ◎時には自分を崖っぷちに置くと  
思いがけない知恵が出る。

(元トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)  
相談役・会長・社長)

石田退三(1888～1979)

(PHP研究所)

#### 常岡一郎 一言

2

天の暗示をつかむ  
古来、発明といい、発見という。それは一寸したことを見出して天の暗示をつかんだことから始まっている。かと思ふと、最も大切なことをウツカリ忘れて大きい禍いを招いたこともある。われわれは心を明るくして、生活環境の中のあらゆる事から天の声を聞きとらねばならぬ。そこに人生の幸福がある。

(常岡一郎著 致知出版社刊)